

総務委員会

一般会計補正予算

●コミュニティバス運行事業費

問 平成31年4月にダイヤ改正を検討しているとのことだが、その考え方は。

答 平成29年度に通学・通勤の利便性向上のため運行ダイヤを大幅に見直したが、結果として利用者が減少した。そのため、平成30年度は、河和田線2便の到着便の繰上げ、通学便の冬季限定運行、土日昼間便の復活などのダイヤ改正を行ったが、利用者数は10月末現在、前年とほぼ同じ水準にとどまっている。

利用者が減少した原因を考えると、公共交通機関は「何時のバスがある」というように生活のリズムになっており、ダイヤが大きく変わったことで、利用者が離れてしまったことも大きな要因と考えている。現在、鯖江地域公共交通再編実施計画の計画期間中であるため、経費の増加や大規模な路線変更など大幅なダイヤ改正は困難であるが、利用促進につながるような改善をしていきたい。

そこで、平成31年4月のダイヤ改正に向けての主な改善内容は、

- ・各支線から循環線への乗継ぎの改善
- ・河和田線の運行時間の短縮
- ・路線上のバス停新設 などを検討している。



産業建設委員会

一般会計補正予算

●空き家利活用を促進する補助金の増額補正

問 補助申請の候補はあるのか。

答 市が実施するサテライトオフィス事業等の企業誘致策により誘致が実現した、LIFULL bizas (ライフフルビザス) が候補。

問 一定期間以上の事業継続を補助対象者に義務づけているのか。

答 5年以上の継続が見込まれるものを補助対象者としており、その物件の賃貸借契約書や誓約書により確認している。

道の駅西山公園における指定管理者について

●施設管理の委託者の選定に同意するもの

問 平成26年度のオープン以降、来館者数の推移はどうか。

答 オープン直後であったことや、平成28年度の新レッサーパンダ舎オープンなどで来館者が集中したが、平成29年度は、秋の長雨や2月の大雪に左右され、来館者が減少した。

今後は、現在利用の少ない2階の会議室の活用を図る。また、委員会から指摘されていた西山公園の活用における連携について、郷陽会館、西山公園、道の駅の管理者との協議の場を設けたので、今後これを活用して利用促進に努めたい。



来館者で賑わう道の駅 西山公園

教育民生委員会

一般会計補正予算

●進徳・早稲田認定こども園(仮称)の改修

問 地域や保護者へに対する対応は。

答 5月には概略図面とスケジュールによる保護者説明会を行った。今後、実施設計図を用いての説明会を開催する予定。地域や保護者の十分な理解を得ながら進めたい。

●健康診査等事業

問 AI活用による受診率向上の要因は。

答 過去5年間の特定健診データと国民健康保険の受診データを合わせて分析し、6つのグループに分け、タイプ別の勧奨ハガキを通知したことにより、受診に、より関心を持っていただけたと分析している。

●健康福祉センター管理運営事業(指定管理者)

問 第三者外部評価による指摘事項の改善状況は。

答 来館者用のスリッパを履きやすいものに改善し、事故防止マニュアルを策定する。利用者の意見を取り入れるための意見箱は、わかりやすい置き場所に変更するなどの改善を行った。



進徳・早稲田認定こども園(仮称)の完成イメージ図